

地域緩和ケアサポートセンターだより

発行所 財団法人三友堂病院

山形県米沢市中央6丁目1-219

2010年1月28日
(平成22年) 木曜日
第4号

季節の病棟行事 2009



(写真並びにお手紙の掲載につきまして、ご家族のご了解を得ています。)

今回のその宝物の中から、昨年、緩和ケア病棟で行われた行事とご家族からいただいた暖かいお手紙を2通ご紹介させていただきます。

三友堂病院緩和ケア病棟が開棟して、早五年が経とうとしています。これまで、沢山の患者さんやご家族の方、志を共にする仲間達、本当に沢山の出会いそして別れがありました。私たちは患者さんのひとりの人としての人生の最

季節の病棟行事 二〇〇九

四月十八日 お花見会

春うららかな午後、病院南側の桜並木でお花見をしました。こぼれるような桜の花と皆さんの笑顔は大切な思い出と共にご家族の宝物になったことでしょう。

五月五日 端午の節句

折り紙で作った手作りのこいのぼりに心を込めたメッセージをしたためて・・・。

六月十三日 音楽会

院内の職員による演奏会。「ふるさと」をアンコールし、皆で合唱しました。患者さんとご家族の皆さんの和やかな歌声は病棟中に優しく響きました。

七月十九日 夏祭り

病棟の談話室を会場にカキ氷や綿飴、焼きそばなどが夏祭りを盛り上げてくれました。



5月5日 端午の節句



6月13日 音楽会

小さい子供さん達とともに水ヨーヨー釣りをしながら、皆で童心にかえりました。

九月十二日 音楽会

ボランティアの江田さんによるギター演奏をそれぞれの患者さんのお部屋で聞かせていただきました。繊細で美しいギターの音色はわたしたちを優しい空間の中にいざなってくれました。

十一月二十三日 芋煮会

緩和ケア病棟特製の芋煮をいただきながら、楽しいひと時を過ごしました。秋の味覚に食欲が湧いたのか、患者の皆さんは普段よりずっとたくさん食べておられました。



7月19日 夏祭り

地域緩和ケアサポートセンター

電話 02381-2418三五五
FAX 02381-2418三五五

季節の病棟行事

二〇〇九

(つづき)

十二月二十三日 クリスマス会

川村サンタクロースの登場にビックリ。看護師がデコレーションしたケーキを頬張りながら、患者さんやご家族と一緒に演奏したり、歌ったりと楽しいひと時を過ごしました。



12月23日 クリスマス会

私たちは、患者さんやその方を支えるご家族の皆さんが、入院中も季節感を味わえるように心がけながら、またかけがえのない今を有意義に過ごしていただけるようささやかではありますが、手作りの行事を開催しております。

尚、ボランティアで参加希望の方は、お気軽に緩和ケア病棟までご連絡下さい。

「家族からのおたより」

「拝啓

去る五月にはご丁寧なそして心とむお手紙を戴き、その上母の写真まで同封していただき誠に有難うございました。

中略

その折には、先生を初め担当の看護師、スタッフの皆様方には、一方ならずお世話になり、有難うございました。緩和ケア病棟のスタッフの皆様方は、日夜かけがえのない大切な命と直接向き合い、私達には想像もつかない程の心理的なプレッシャーを抱えながらも患者やその家族の為に頑張っておられます。その姿が今でも私たちの脳裏にはつきりと焼き付いています。その上、死去後日々が経っているのに、患者の家族の嘆きや悲しみにまで思いを馳せてくださる。何と優しく、崇高な気持ちでお仕事をなさっていることでしょうか。敬意の念を感じざるをえません。他県から来た私達にとって、米沢の人たちの優しさに触れるにつれ、そうした文化と人との強い結びつきを感じ、益々その確信を深くしていきます。」

「緩和ケア病棟スタッフの皆様へ」

梅雨明け前の天候不順が続いておりますが、先生をはじめ皆様にはお変わりなくお仕事に励みのことと存じます。

先日は心温まるお手紙をいただきまして有難うございます。母が入院してから亡くなるまでの約二ヶ月余、本当にお世話になりました。母だけでなく、私たち姉弟のために、誠心誠意、心のこもった看護をしていただき感謝の気持ちでいっぱいです。

また、母の死に際しましては、気持ちも動揺し色々手を尽くしてくださいました皆様に十分なお礼を申し上げる間もないまま、今まで過ごしてしまったこと、お許し下さい。

母が亡くなって、私達は何をどうしたらいいのか、悲しみが先立って何もできずに時間ばかり早く過ぎ、気持ちばかりあせってしまう毎日でしたが、周囲の方々に助けていただき、先日無事四十九日の法要をすませ、ほっとした時に皆様からのお手紙が届き、皆様の心遣いに涙があふれ、言葉では言い尽くせない気持ちでいっぱいになりました。

中略

そんな時、暖かい言葉をかけてくださり、時間の許す限り話を聞いてくださり、私たちの体のことまで心配していただき、家族のように私達を支えてくださいました。また、花見の時も皆様のはからいでベツドのまま参加させていただき、あの日は本当に母も私たち姉弟にとっても幸せな素晴らしい一日となりました。あの時の母の写真は私たちの宝物です。今でも写真をみると息をしているような感じで笑い声が聞こえてきそうです。

中略

辛い事、苦しい事、悔しい思い、たくさんありますが、皆様のおかげで親子水入らずの貴重な時間を過ごすことができました。私達はもちろん母も、緩和ケアスタッフの皆様との出会えたこと、大切な宝物としてこれからの支えにし、感謝の気持ちを忘れずに頑張っていきます。」

私達スタッフこそ、私達にとりまして明日への糧となる丁寧なお手紙をいただきまして、これ以上の感動はありません。ありがとうございます。新たな年を迎え、皆様のお幸せをお祈り申し上げます。

平成二十二年一月吉日

三友堂病院地域緩和ケアサポートセンター
スタッフ一同

地域緩和ケアサポートセンター
活動報告

公立置賜長井病院
二〇〇九年「クリスマス会」

今回は、当センター音楽療法士の小笠原未希さんが、昨年十二月十七日に公立置賜長井病院の「クリスマス会」で行った音楽療法の模様をお伝えします。

会場は公立置賜長井病院精神科病棟でした。参加人数は六十名でした。

クリスマス会ということもあり、どの世代の人も知っている曲目を選択されました。歌唱だけでなく、身体を動かしたり、楽器演奏なども行い、参加者全員がさまざまな形で参加できるようにプログラムが組まれました。



12月17日 公立置賜長井病院
2009年「クリスマス会」

曲目は、「雪」、「幸せなら手を叩こう」、「ジングルベル」、「いい湯だな」、「赤鼻のトナカイ」そして「きよしこの夜」でした。あつという間の四十分間でした。

普段、なかなか音楽に触れる機会がなかった患者さんたちにとって、大きな感激がもたらされた様子で、皆さん涙を流し、とても喜んでくださいました。患者さんたちから、「歌ったことでスッキリした。」、「童心に返った。楽しかった。」との声が聞かれました。表情がとても生き生きとしているのが印象的でした。

小笠原さんも、「三友堂病院とは、違った雰囲気の中で、また、患者さんの反応も異なり、非常に良い経験をしました。この経験を生かし、次のステップアップに繋げていきたいです。」と語っていました。

小笠原さんは音楽療法士として、今年三年目のキャリアを迎えます。彼女にとってこのクリスマス会は公式には二度目の院外活動でした。彼女の音楽療法では、音楽の持つ、偉大な効果にいつも驚かされます。心が癒され、感動に包まれます。音楽療法を希望される方は、どうぞ当センターまでお問い合わせ下さい。

痛み教室予定

H22. 2. 2
終末期医療 (リビングウィル)
H22. 2. 16
悪い知らせを聞いたとき
講師 緩和ケア科科长
加藤佳子
場所 三友堂病院5階東
リクリエーションルーム
時間 pm 2時~3時

緩和ケア出前講座のご案内

三友堂病院では、地域の方々に緩和ケアに対する理解を深めていただくために、『緩和ケア出前講座』を実施しています。



緩和ケア総論

- | | |
|------------------|-------|
| 診療第二部部長 | 川村博司 |
| 疼痛コントロールと看取りについて | |
| 緩和ケア科科长 | 加藤佳子 |
| 外科科長 | 横山英一 |
| 緩和ケア病棟・外来紹介 | |
| 緩和ケア病棟師長 | 黒田美智子 |
| 緩和ケアの手技と実践 | |
| 緩和ケア病棟主任 | 吉田美代子 |
| チームケア その1 心理的援助 | |
| 臨床心理士 | 吉田満美子 |
| その2 音楽療法 | |
| 音楽療法士 | 小笠原未希 |
| 在宅看護ケア | |
| 看護師 (社会福祉士) | 渡部芳紀 |

お申し込みは

三友堂病院地域緩和ケアサポートセンター
電話 0238-24-8355 (直通)
三友堂病院地域医療連携室
電話 0238-24-3708

地域緩和ケアサポートセンター

私たちは、「人明かりにつつまれたケアをめざして」
まごころ込めたケアを行っていきます。

今年もどうぞよろしくお願ひいたします。



地域ケアサポートセンターだよりは
三友堂病院ホームページでも紹介しています。
<http://www.sanyudo.or.jp>



第1号



第2号



第3号